

令和3年度 高知市中心市街地活性化基本計画の定期フォローアップに関する報告

令和4年5月

高知市（高知県）

○計画期間：平成30年4月～令和5年3月（5年）

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和3年度終了時点（令和4年3月31日時点）の中心市街地の概況

本市では、平成30年3月に計画の認定を受け、「地域資源の魅力が織り成す、『暮らし』と『交流』の調和したまち」を目指し、認定基本計画に登録のハード・ソフトあわせて60事業を実施している。

中心市街地では、平成30年7月の県市合築の新図書館等複合施設「オーテピア」のオープンをきっかけとして、中心商店街とオーテピアを回遊する新たな人の流れが生まれ、オーテピアと隣接する商店街では新規出店が相次ぎ、歩行者通行量も増加傾向にあった。

しかし、令和元年末に端を発する新型コロナウイルスの感染拡大状況は、令和3年度も一定の周期ごとに感染拡大の波を繰り返し、高知市においても8月27日から9月12日まではまん延防止等重点措置の適用がされたことや、それに伴う飲食店への時短営業、外出自粛の要請等に起因し、来街者が減少した。高知県の発出する新型コロナウイルス感染症の警戒レベルに応じてイベントの開催要件が制限され、「よさこい祭り」や「大道芸フェス」等の大規模なイベントは令和3年度も中止になったものの、「土曜夜市」、「龍馬生誕祭」、「TSUNAGU～昼も夜もテイクアウトフェスタ」等、感染症対策を行ったうえで開催されたイベントもあり、中心市街地のにぎわい創出に寄与した。

このようにソフト面ではウィズコロナによるイベントの運営手法について模索が続く一方、ハード面では、帯屋町一丁目地区複合施設整備事業の居住部分が令和3年5月に竣工している他、令和3年度に中心市街地区域内にマンション3棟が整備され、令和4年度にも3棟の整備が予定されている。加えて、高知城に隣接する都市公園の丸ノ内緑地リニューアル整備が令和4年度末の完成を目指し、進捗していること等、居住環境の向上により更なる中心市街地の人口増加が期待される。

以上の取組により、目標指標に対する令和3年度の達成状況は、「中心市街地の居住人口の割合」はマンション整備等が順調に進捗し1.72%と目標達成となったが、その他の目標指標「歩行者通行量」及び「拠点施設入館者数」については、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により主なソフト事業が中止や規模縮小となったことや、来街者が減少したため、ともに目標達成とはならなかった。新型コロナウイルスの影響が今後も続くことから、引き続き状況を注視しつつ行政、商店街、民間事業者等が連携して中心市街地のまちづくりに取り組んでいく必要がある。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

(1) 居住人口

(基準日：毎年度1月1日)

単位：人

(中心市街地地域)	平成 29 年度 (計画前年度)	平成 30 年度 (1 年目)	令和元年度 (2 年目)	令和 2 年度 (3 年目)	令和 3 年度 (4 年目)
人口	5,019	5,103	5,271	5,532	5,541
人口増減数	-79	84	168	261	9
自然増減数	-46	-61	-37	-54	-63
社会増減数	-24	150	214	306	75
その他の増減数 (帰化・国籍喪失等)	-9	-5	-9	9	-3
転入者数	394	579	654	719	510

(データ：住民基本台帳)

(2) 店舗数

(基準月：毎年 12 月)

(中心市街地地域)	平成 29 年度 (計画前年度)	平成 30 年度 (1 年目)	令和元年度 (2 年目)	令和 2 年度 (3 年目)	令和 3 年度 (4 年目)
中心市街地全体	540	569	568	555	552
はりまや橋商店街	34	35	37	36	37
京町・新京橋商店街	51	49	46	49	47
壱番街商店街	31	31	31	31	30
帯屋町一丁目商店街	90	92	91	88	88
帯屋町二丁目商店街	45	48	48	43	44
おびさんロード商店街	48	49	50	48	45
中の橋商店街	47	42	47	47	48
柳町商店街	70	68	69	69	66
大橋通り商店街	43	43	41	36	39
魚の棚商店街	22	23	20	19	19
天神橋通商店街	30	32	31	31	32
菜園場商店街	32	54	55	58	56
升形商店街	33	39	38	36	37

(データ：「商店街空き店舗調査」(高知市，高知商工会議所実施))

※複数商店街への重複店があるため，中心市街地全体の店舗数は各商店街の店舗数合計と一致しない。

(3) 地価

(基準日：毎年度1月1日)

単位：円

(中心市街地地域)	平成29年度 (計画前年度)	平成30年度 (1年目)	令和元年度 (2年目)	令和2年度 (3年目)	令和3年度 (4年目)
中心市街地全地点の平均	187,750	191,625	192,625	190,625	188,875
本町1丁目29番外	252,000	252,000	253,000	252,000	251,000
廿代町318番	139,000	139,000	139,000	137,000	135,000
升形52番	148,000	147,000	146,000	144,000	142,000
本町2丁目104番	158,000	158,000	158,000	158,000	158,000
はりまや町1丁目108番(※)	198,000	225,000	225,000	221,000	217,000
帯屋町1丁目170番外	256,000	261,000	269,000	264,000	260,000
はりまや町1丁目333番1外	182,000	182,000	182,000	181,000	180,000
本町5丁目52番	169,000	169,000	169,000	168,000	168,000

(データ：国土交通省地価公示・都道府県地価調査)

※はりまや町1丁目108番の調査地点については、平成29年度までははりまや町3丁目76番、平成30年度から現地番

2. 令和3年度取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

高知市中心市街地活性化基本計画における令和3年度取組は、ハード事業については、中心市街地において、民間分譲マンションの建設が次々と進んでいることに加え、丸ノ内緑地をはじめとする都市公園のリニューアルも順調に進捗していることから、更なる中心市街地の居住人口の拡大が期待される。

一方、令和3年度のソフト事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度に引き続いて中止又は規模縮小となったイベント等が多数見受けられた。市民の外出控えや、観光客の減少により、数値目標である「歩行者通行量」は令和2年度と比較して、令和3年度に多少持ち直したものの、コロナ前の水準には回復していない。

また、拠点施設であるオーテピアや高知城歴史博物館などは、商店街や日曜市と連携しながら多彩な企画を実施しており、これまで中心市街地に賑わいを創出してきたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、従来のイベント内容や運営体制の見直しを余儀なくされ、数値目標である「拠点施設入館者数」についても「歩行者通行量」と同様に令和3年度に多少持ち直したものの、コロナ前の水準に回復するのは難しい状況となっている。

令和4年度が二期計画最終年度となるが、計画掲載事業を着実に実施するとともに、アフターコロナにおける社会状況の変化を想定した観光施策の強化や、イベント等のソフト事業の積極的な実施等、官民が連携して取り組むことにより、地域経済における新たな需要や投資を喚起し、中心市街地の更なる活性化に向けたまちづくりが進捗することを期待する。

Ⅱ. 目標ごとのフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況	前回の見通し	今回の見通し
「すべての世代が永く住み続けられるまち」の実現	中心市街地の居住人口の割合	1.52% (H28)	1.65% (R4)	1.72% (R3)	A	①	①
「多くの人が回遊するまち」の実現	歩行者通行量 (17地点)	119,447人 (H28)	123,278人 (R4)	104,188人 (R3)	C	2	2
	東エリアの歩行者通行量 【参考指標】	34,671人 (H28)	35,585人 (R4)	28,878人 (R3)	C	—	—
	西エリアの歩行者通行量 【参考指標】	80,045人 (H28)	82,940人 (R4)	70,459人 (R3)	C	—	—
	周辺エリアの歩行者通行量 【参考指標】	4,731人 (H28)	4,753人 (R4)	4,851人 (R3)	A	—	—
「また訪れたいと思うまち」の実現	拠点施設入館者数(4施設)	1,159,555人 (H28)	1,748,000人 (R4)	1,020,017人 (R3)	C	2	2

<基準値からの改善状況>

A：目標達成、B：基準値より改善、C：基準値に及ばない

<目標達成に関する見通しの分類>

①：目標達成が見込まれる（関連する事業等の進捗状況が順調）

②：目標達成が見込まれない（関連する事業等の進捗状況が順調）

1：目標達成が見込まれる（関連する事業等の進捗状況が順調でない）

2：目標達成が見込まれない（関連する事業等の進捗状況が順調でない）

2. 目標達成見通しの理由

中心市街地の人口については、主要事業である民間分譲マンションの整備事業が予定通り事業完了したことや、計画登載の事業以外にもマンション建設が相次いでいることなどから、中心市街地の居住人口は平成29年度以降毎年増加し続けている。令和3年度の最新値（調査日：4月1日）は5,529人、市全体の人口に対する割合は1.72%となり、目標を達成している。

一方で、歩行者通行量及び拠点施設入館者数の令和3年度最新値はそれぞれ104,188人、1,020,017人と、前年よりも改善はしたものの、いずれも目標値を下回った。これは、新型コロナウイルス感染症拡大により、主なソフト事業が規模縮小又は中止となったことや、外出控えにより中心市街地への来街者が大幅に減少したことが影響したものである。新型コロナウイルス感染症の影響下においてソフト事業は新しい生活様式に対応した実施方法への転換を余儀なくされ、オンラインや密集を避ける規模での実施が今後のニューノーマルとなっていくことから、新型コロナウイルス感染拡大以前に設定した目標値を達成することは困難であると判断した。

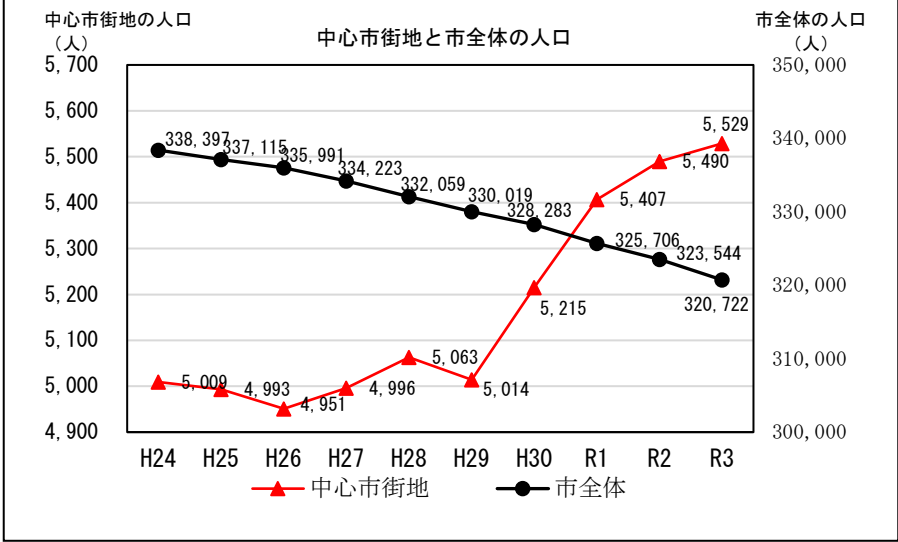
3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

前回のフォローアップと見通しは変わっていない。

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

(1)「中心市街地の居住人口の割合」※目標設定の考え方認定基本計画 P68～P70 参照

●調査結果と分析



年	(単位)
H28	1.52% (基準年値)
H29	1.52%
H30	1.59%
R1	1.66%
R2	1.70%
R3	1.72%
R4	1.65% (目標値)

※調査方法：基本計画区域内の町丁目別及び市全体の住民基本台帳人口

※調査月：毎年4月1日

※調査主体：高知市

※調査対象：基本計画区域内及び高知市の居住者

〈分析内容〉

令和3年度の最新値（調査日：4月1日）における市全体の人口は320,722人と減少が続いているのに対し、中心市街地の人口は5,529人であり、民間分譲マンションの建設が進んでいる事にも起因し、平成29年度から増加が続いている。令和3年度の市全体の人口に対する中心市街地の人口の割合は1.72%となり、目標を達成している他、前年度の1.70%を上回った。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 帯屋町一丁目地区複合施設整備事業（民間事業者）

事業実施期間	平成30年度～令和3年度【済】
事業概要	商業店舗や映画館と共同住宅の複合施設を整備するもの
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	既存建物にあった映画館が、平成31年1月から休館。 令和元年6月、解体工事及び建設工事に着手した。 令和3年5月竣工。 ・計画：供給戸数51戸 82人の居住人口増加見込み（1戸あたり平均1.62人と仮定） ・実績：39戸（住居用36戸、店舗用3戸）を整備。

事業の今後について	事業完了
-----------	------

②. 「クレアホームズ高知駅前 ザ・レジデンス」整備事業（セントラル総合開発株式会社）

事業実施期間	平成 30 年度【済】
事業概要	北本町二丁目地区において民間分譲マンションを整備するもの
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	平成 30 年 11 月竣工。分譲戸数 55 戸のマンションが整備されたことにより、北本町二丁目地区の居住人口増加につながった。 ・計画：供給戸数 55 戸 89 人の居住人口増加見込み ・実績：計画通り 55 戸整備、完売
事業の今後について	事業完了

③. 「ロイヤルガーデンはりまや町」整備事業（株式会社和田コーポレーション）

事業実施期間	平成 30 年度【済】
事業概要	はりまや町一丁目地区における民間分譲マンションの整備
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	平成 30 年 12 月竣工。分譲戸数 42 戸のマンションが整備されたことにより、はりまや町一丁目地区の居住人口増加につながった。 ・計画：供給戸数 42 戸 68 人の居住人口増加見込み ・実績：計画通り 42 戸整備、完売
事業の今後について	事業完了

④. 「クレアホームズ升形 ザ・レジデンス」整備事業（セントラル総合開発株式会社）

事業実施期間	平成 30 年度【済】
事業概要	升形地区における民間分譲マンションの整備
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	平成 31 年 2 月竣工。分譲戸数 38 戸のマンションが整備されたことにより、升形地区の居住人口増加につながった。 ・計画：供給戸数 38 戸 61 人の居住人口増加見込み ・実績：計画通り 38 戸整備、完売
事業の今後について	事業完了

⑤. 移住・定住促進事業（高知市）

事業実施期間	平成 27 年度～令和 4 年度【実施中】
国の支援措置名及び支援期間	連携中枢都市に対する普通交付税
事業概要	街の魅力や移住・定住に関する情報発信や、三世代同居等となる子育て世帯の転入・定住費用に対する支援など、移住・定住を促進するための各種施策を実施するもの
事業目標値・最新値及び進捗状況	移住希望者を対象に、街なかをはじめとする市内を案内するガイドツアー（令和 3 年度実績：10 組）や、ホームページや SNS 等において、生活のしやすさ、利便性が高いことについて情報発信するとともに、三世代同居等となる子育て世帯の転入・定住費用に対する支援（令和 3 年度実績：11 件）などを実施した。
事業の今後について	引き続き、移住希望者対象としたガイドツアーの実施や各種補助の実施等により、移住・定住の促進に向けた支援を行っていく。

●目標達成の見通し及び今後の対策

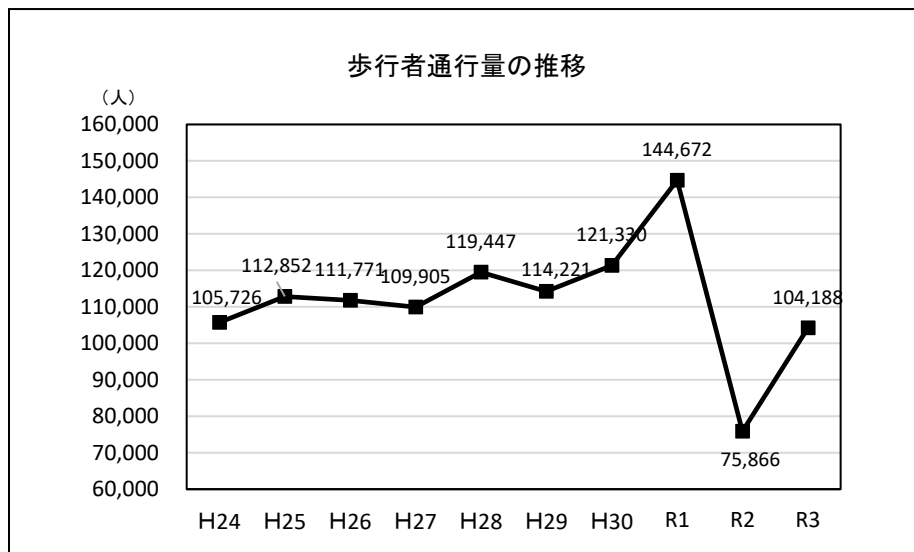
中心市街地の人口については、主要事業である民間分譲マンションの整備事業が予定通り事業完了したことや、計画登載以外にもマンション建設が相次いでいることなどから、中心市街地の居住人口は平成 29 年度以降毎年増加し続けている。令和 3 年度の最新値（調査日：4 月 1 日）は 5,529 人、市全体の人口に対する割合は 1.72% となり、目標を達成している。

令和 4 年度も 3 棟のマンション建設が予定されているため今後も居住人口が増加すると予測されることや、丸ノ内緑地をはじめとする都市公園のリニューアルを順次実施していく予定であり、さらに居住環境の向上を図り、街なか居住を推進していく。

Ⅱ「歩行者通行量（17 地点・冬季・平日休日 2 日の合計）」

※目標設定の考え方基本計画 P71～P76 参照

●調査結果の推移



年	(単位)
H28	119,447 人 (基準年値)
H29	114,221 人
H30	121,330 人
R 1	144,672 人
R 2	75,866 人
R 3	104,188 人
R 4	123,278 人 (目標値)

※調査方法：中心市街地内の 17 地点において、毎年 12 月の第 3 金曜日及び日曜日に実施。

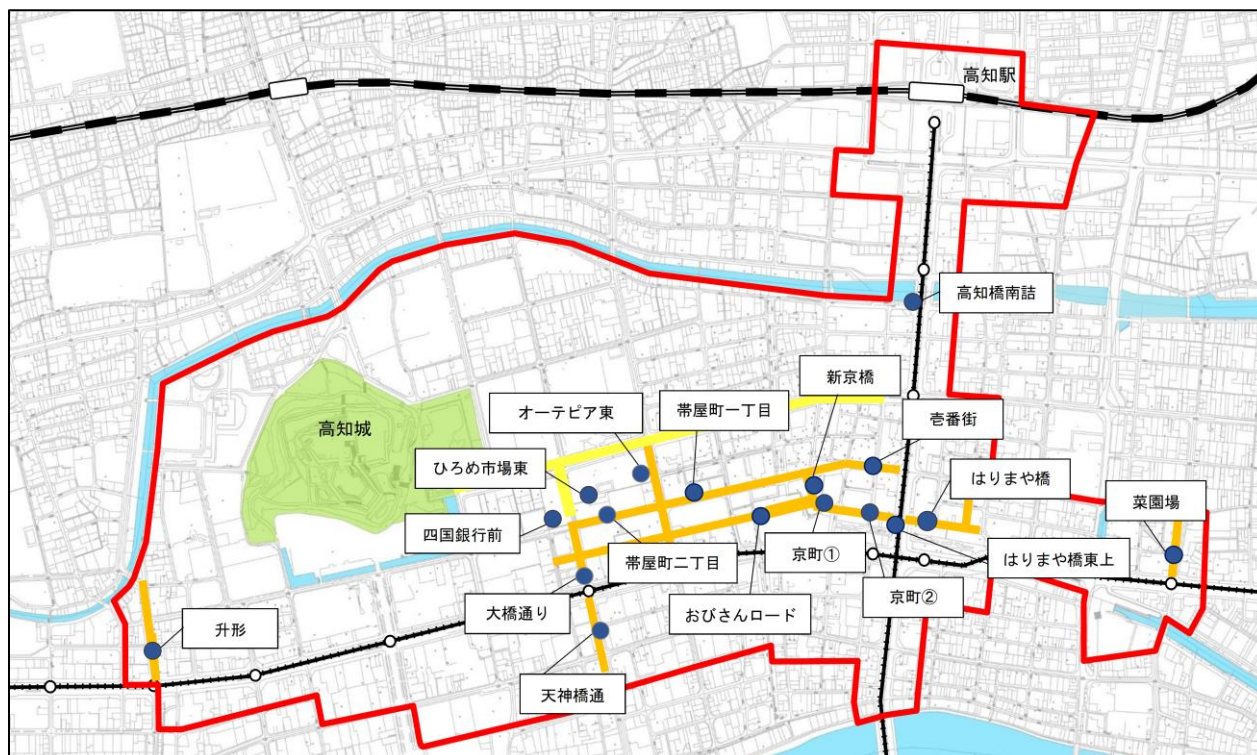
10 時～18 時の間に通行する歩行者を計測。

※調査月：令和 3 年 12 月

※調査主体：高知市、高知県商店街振興組合連合会

※調査対象：中心市街地内 17 地点の歩行者

< 調査地点図 >



(単位：人)

	平成 29 年度 (計画前年度)	平成 30 年度 (1 年目)	令和元年度 (2 年目)	令和 2 年度 (3 年目)	令和 3 年度 (4 年目)
大橋通り商店街	8,163	8,943	11,226	7,221	8,334
帯屋町二丁目商店街	18,078	22,758	30,945	11,772	18,339
帯屋町一丁目商店街	17,910	24,615	25,473	12,801	18,192
おびさんロード商店街	3,402	3,243	4,491	2,322	2,667
壱番街商店街	8,469	8,292	9,600	5,361	7,308
新京橋商店街	5,781	6,771	7,041	3,039	4,848
京町商店街①	5,760	5,880	6,615	3,114	3,876
京町商店街②	7,011	6,681	7,278	3,504	5,478
はりまや橋商店街	4,959	5,265	5,541	2,880	4,134
はりまや橋東上	5,391	3,609	4,308	2,139	3,234
菜園場商店街	1,005	1,056	864	612	960
升形商店街	1,077	708	1,041	858	1,122
天神橋通商店街	3,021	3,264	2,475	2,352	2,733
四国銀行帯屋町支店前	6,562	5,202	6,111	4,726	6,603
ひろめ市場東	9,026	6,636	11,322	6,586	7,981
オーテピア東	5,218	5,069	6,491	4,310	5,610
高知橋南詰	3,388	3,338	3,850	2,269	2,769
合計	114,221	121,330	144,672	75,866	104,188

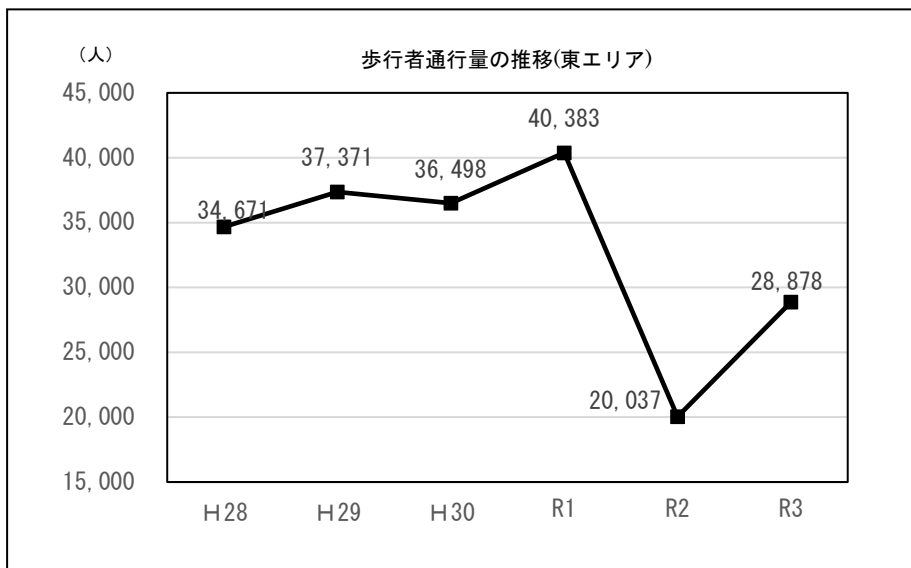
〈分析内容〉

中心市街地では平成 27 年度に帯屋町チェントロ，平成 29 年度に高知城歴史博物館，平成 30 年度にオーテピアが整備され，新たな人の流れや賑わいが生まれたことに伴い，近年は歩行者通行量が増加傾向にあり，令和元年度の歩行者通行量は 144,672 人と，本市が中心市街地基本計画の取組を開始した平成 24 年度以降最も高くなっていた。

しかし，令和 2 年度以降新型コロナウイルス感染症拡大により来街者は減少傾向となり，令和 2 年度の調査日は，高知県が飲食店等に営業時間短縮を要請した期間中で市民・県民が不要不急の外出を控えていたことから計測結果は 75,866 人と，平成 24 年度の調査開始以降最も低い数値となった。令和 3 年度の調査日においては県内の感染状況は比較的落ち着いており，高知県の発出する警戒レベルは「感染観察（緑）」であったものの，計測結果は 104,188 人となり，基準値である平成 28 年の 119,447 人にも届かない結果となった。

<参考指標> エリア別の歩行者通行量

(参考指標① 東エリア (6 地点) の歩行者通行量)



年	(単位)
H28	34,671 人 (基準年値)
H29	37,371 人
H30	36,498 人
R 1	40,383 人
R 2	20,037 人
R 3	28,878 人
R 4	35,585 人 (目標値)

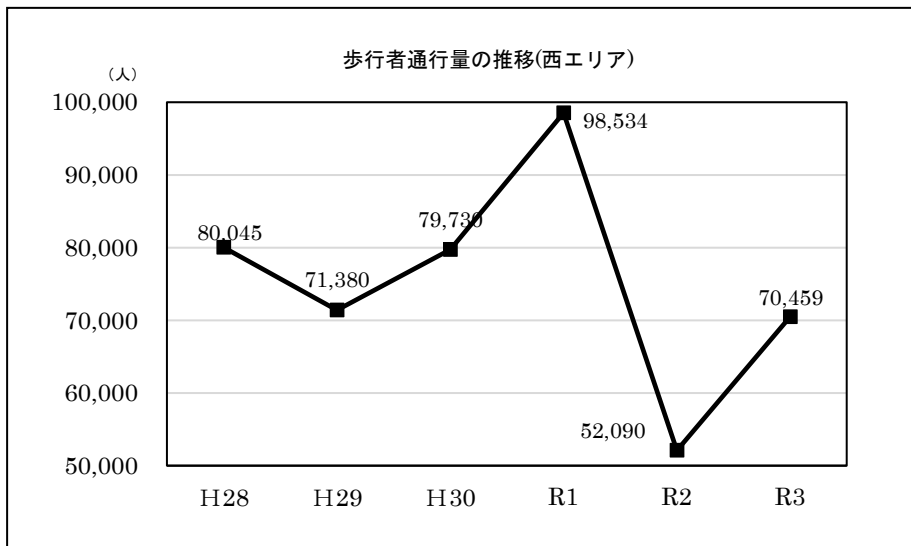
※調査方法：「商店街歩行者通行量調査」による

※調査月：毎年 12 月

※調査主体：高知市，高知県商店街振興組合連合会

※調査対象：中心市街地内の歩行者

(参考指標② 西エリア (8 地点) の歩行者通行量)



年	(単位)
H28	80,045 人 (基準年値)
H29	71,380 人
H30	79,730 人
R 1	98,534 人
R 2	52,090 人
R 3	70,459 人
R 4	82,940 人 (目標値)

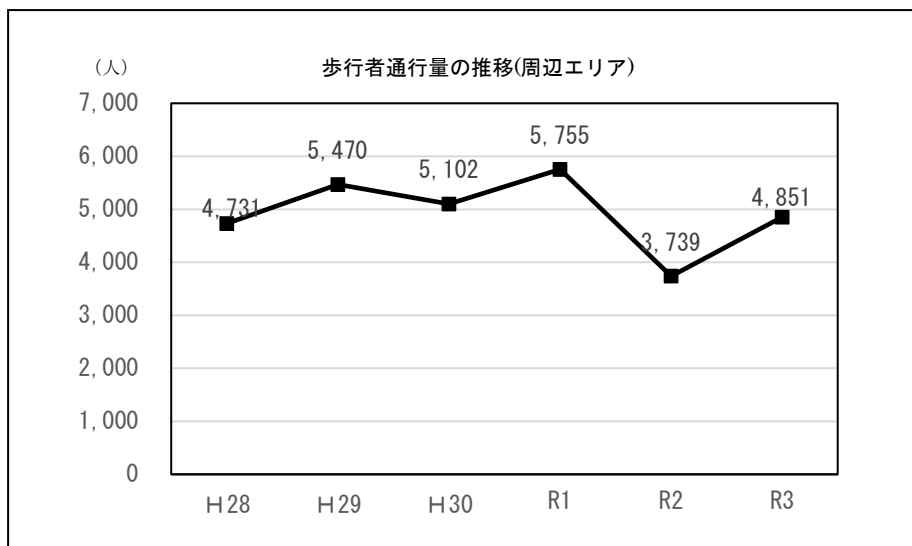
※調査方法：「商店街歩行者通行量調査」による

※調査月：毎年 12 月

※調査主体：高知市，高知県商店街振興組合連合会

※調査対象：中心市街地内の歩行者

(参考指標③) 周辺エリア（３地点）の歩行者通行量



年	(単位)
H28	4,731 人 (基準年値)
H29	5,470 人
H30	5,102 人
R 1	5,755 人
R 2	3,739 人
R 3	4,851 人
R 4	4,753 人 (目標値)

※調査方法：「商店街歩行者通行量調査」による

※調査月：毎年 12 月

※調査主体：高知市，高知県商店街振興組合連合会

※調査対象：中心市街地内の歩行者

① オーテピアにおけるソフト事業（高知県，高知市）

事業実施期間	平成 30 年度～令和 4 年度【実施中】
事業概要	オーテピア多目的広場を活用した各種イベントや，日曜市・中心商店街と連携した取組を実施するもの
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	「高知まちゼミ」は新型コロナウイルスの影響のため中止となったものの，「土曜夜市」，「高知市商店街龍馬生誕祭」に参加し，中心商店街と連携して情報発信等の取組を実施した。11 月 21 日にはお城下文化の日を開催し，オーテピア高知図書館，高知みらい科学館の各施設におけるイベントや「お城下まちあるき」を実施した。 ・計画：年間入館者 1,000,000 人 歩行者通行量 7,066 人増加見込み ・令和 3 年度実績：年間入館者数 766,467 人
事業の今後について	中心商店街が実施する「土曜夜市」や「まちゼミ」等のイベントが開催される場合は，感染症対策を行いながら参加し，オーテピアから商店街への人の流れを創出していく。

② 高知大丸リニューアル事業（株式会社 高知大丸）

事業実施期間	平成 30 年度～令和 4 年度【実施中】
事業概要	中心市街地に唯一立地する百貨店である高知大丸東館のリニューアルを実施するもの
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	高知のローカル資源や生活に密着したコンテンツを取り入れた大規模改装を実施し、令和 4 年 3 月 25 日にリニューアルオープンした。 ・計画：周辺商店街等の通行量が H28 の 34,671 人から 5%増加（+1,733 人）の見込み
事業の今後について	リニューアルされた大丸東館 5 階の「高知ローカリティフロア」において、れんけいこうち広域都市圏ネットワークを活かした高知県産品を取扱う販売ブースや、物販及び飲食に係る期間限定のチャレンジショップを設置し、地域に密着した百貨店として高知の魅力を発信することで、中心市商店街の核店舗としてプレゼンスをいっそう向上させ、来街者の増加に寄与し、中心市街地のにぎわいを創出する。

③ 高知城歴史博物館ソフト事業（高知県）

事業実施期間	平成 28 年度～令和 4 年度【実施中】
事業概要	高知城歴史博物館において、多彩なイベント、日曜市や中心商店街との連携事業、情報発信等を実施するもの
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	中心市街地の文化施設による連携活動として、合同イベント「お城下文化の日」を実施し、まちあるき・ワークショップ・周遊企画等を開催、また中心市街地マップや施設情報を掲載したパンフレット「お城下文化手帳」を発行した他、中心商店街主催の「龍馬生誕祭」にも参加し、ワークショップを開催し、来街者の増加に寄与した。しかし、例年開催している日曜市や商店街と関連したイベント（「日曜市料理教室」、「まちゼミ」）については、令和 2 年度に続き新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止となった。 ・計画：年間観覧者数 200,000 人 歩行者通行量 1,282 人増加見込み ・令和 3 年度実績：年間観覧者数 34,430 人
事業の今後について	目標達成に向けて、日曜市と関連したイベント、まちの歴史文化スポットに関する情報提供などを継続して実施していく。

④ 帯屋町一丁目地区複合施設整備事業（民間事業者）【再掲】

事業実施期間	平成 30 年度～令和 3 年度【済】
事業概要	商業店舗や映画館と共同住宅の複合施設を整備するもの
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	既存建物にあった映画館が、平成 31 年 1 月から休館。 令和元年 6 月、解体工事及び建設工事に着手した。 令和 3 年 5 月竣工。 ・計画：供給戸数 51 戸 82 人の居住人口増加見込み（1 戸あたり平均 1.62 人と仮定） 歩行者通行量 164 人増加見込み ・実績：39 戸（住居用 36 戸、店舗用 3 戸）を整備。
事業の今後について	事業完了

⑤ 街なか空間有効活用事業（高知市，商店街，民間事業者）

事業実施期間	平成 30 年度～令和 4 年度【実施中】
事業概要	中心市街地に点在する未利用地や空き店舗，公共空間等においてイベントを開催する等有効利用を図るもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	商店街や民間事業者，高知県及び高知市が連携して感染症対策を行いながら中心市街地に賑わいを呼び戻すイベントを商店街の空きスペースや公共空間等において実施した。 ・土曜夜市（7/31） ・第 12 回高知市商店街龍馬生誕祭（11/15） ・TSUNAGU～昼も夜もテイクアウトフェスタ（1/22，1/23） ・計画：平成 29 年度時点の誘客数 1,200 人を 10%増加させ，3 か所程度回遊と仮定 1,200 人×10%×3=360 人増加見込み
事業の今後について	新型コロナウイルス感染の収束状況を見ながら，高知大道芸フェス 2022 等，未利用地を有効活用した各種イベントを開催していく。

⑥ レンタサイクル事業（高知市）

事業実施期間	平成 30 年度～令和 4 年度【実施中】
事業概要	中心市街地を快適に回遊できるレンタサイクルの導入及び実施
国の支援措置名及び支援期間	都市再生整備計画道路占用許可の特例，都市公園の占用許可の特例（活用予定）
事業目標値・最新値及び進捗状況	レンタサイクル利用者が便利に乗り降りできるよう，サイクルポートを中心市街地内随所に整備することで，来街者の回遊性の向上が期待できる。

	平成 30 年度及び令和元年度にシェアサイクル導入の先進市を視察し事業実施に向けて研究を行ったが、令和 3 年度は予算が確保できず、具体的な事業化に至っていない。 ・計画： 平日 75 人、休日は平日の 2.1 倍の 158 人の利用を目指し、利用者の 25%の人が 3 か所回遊と仮定。 $233 \text{ 人} \times 25\% \times 3 = 175 \text{ 人}$増加見込み
事業の今後について	シェアサイクルの導入に向けて、実施可能な方法について引き続き研究を行い、事業主体となる民間事業者の選定や事業調整等を行っていく。

⑦ 学生活動交流館事業、学生と商店街の連携事業（高知市、商店街、学生）

事業実施期間	学生活動交流館事業：平成 25 年度～令和 4 年度【実施中】 学生と商店街の連携事業：平成 30 年度～令和 4 年度【実施中】
事業概要	京町商店街にある高知市学生活動交流館の運営及び当該施設における学生グループの活動支援を行うとともに、その他商店街と連携した学生主催のイベントを企画、実施する。
国の支援措置名及び支援期間	学生活動交流館事業：中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（平成 25 年度～令和 4 年度） 学生と商店街の連携事業：国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	高知市学生活動交流館は、高知県の発出する新型コロナウイルス感染症の警戒レベルを考慮し、令和 3 年 8 月 20 日から 9 月 27 日、令和 4 年 1 月 20 日から 3 月 28 日まで休館した。それ以外の機関については感染症対策を行いながら、学生グループの自主研究や芸術・文化グループ作品展示等を行った。 また、令和 2 年度に続き、商店街青年部と中高生が商店街の将来像について研究するまちづくり勉強会「高知おまち学園」を実施した。 ・計画：160 人増加見込み
事業の今後について	高知市学生活動交流館において、学生グループ等が実施する作品展示、実習等の活動への貸出しを行う。また、利用率の向上にむけて、施設の PR を行う。 商店街との連携事業についても、「はりまやストリートフェスティバル」や「高知おまち学園」に関連するイベントを実施予定。

⑧ 「ロイヤルガーデンはりまや町」整備事業（株式会社和田コーポレーション）【再掲】

事業実施期間	平成 30 年度【済】
事業概要	はりまや町一丁目地区における民間分譲マンションの整備
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし

事業目標値・最新値 及び進捗状況	平成 30 年 12 月竣工。分譲戸数 42 戸のマンションが整備されたことにより、はりまや町一丁目地区の居住人口増加につながった。 ・計画：供給戸数 42 戸 68 人の居住人口増加見込み 歩行者通行量 136 人増加見込み ・実績：計画通り 42 戸整備，完売
事業の今後について	事業完了

⑨ 「クレアホームズ升形 ザ・レジデンス」整備事業（セントラル総合開発株式会社）【再掲】

事業実施期間	平成 30 年度【済】
事業概要	升形地区における民間分譲マンションの整備
国の支援措置名及び 支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値 及び進捗状況	平成 31 年 2 月竣工。分譲戸数 38 戸のマンションが整備されたことにより、升形地区の居住人口増加につながった。 ・計画：供給戸数 38 戸 61 人の居住人口増加見込み 歩行者通行量 122 人増加見込み ・実績：計画通り 38 戸整備，完売
事業の今後について	事業完了

⑩ まんがイベント事業、芸術文化振興事業（高知県，高知市，民間事業者）

事業実施期間	まんがイベント事業：平成 15 年度～令和 4 年度【実施中】 芸術文化振興事業：平成 30 年度～令和 4 年度【実施中】
事業概要	まんがに関するイベントの開催や地元商店街と連携したイベント等を実施する。また、県民文化ホール、かるぽーと等での芸術・文化イベントの実施により来街促進を図る。
国の支援措置名及び 支援期間	まんがイベント事業：中心市街地活性化ソフト事業（総務省），文化芸術振興費補助金 芸術文化振興事業：国の支援措置なし
事業目標値・最新値 及び進捗状況	「まんが甲子園」，「まんさい」，「全国漫画家大会議 in まんが王国・土佐」はいずれも新型コロナウイルス感染症の影響に伴い，オンラインでの開催となった。また，情報発信拠点「高知まんが BASE」では 1 周年記念イベント「ゲンガノミカタ展」等のイベントを開催した。 計画：利用者増加見込数 $16,302 \text{ 人} \div \text{想定営業日数 } 312 = 52 \text{ 人}$ 半数が商店街に移動し，2 か所回遊と仮定 $52 \text{ 人} \div 2 \times 2 \text{ か所} \times 2 \text{ 日} = 104 \text{ 人}$ 増加見込み 実績：201,112 人（かるぽーとの令和 3 年度入館者数）
事業の今後について	「まんが甲子園」，「まんさい」，「全国漫画家大会議 in まんが王国・土佐」を継続して実施する。かるぽーとは令和 4 年 4 月から令和 5 年 3 月まで改修工事を行うため，各種芸術・文化イベントは場所を変えて実施する予定。

⑪ 高知よさこい情報交流館運営事業（高知市）

事業実施期間	平成 25 年度～令和 4 年度【実施中】
事業概要	高知よさこい情報交流館の運営を行い、よさこいをテーマとした展示やよさこい祭り開催時以外でもよさこいを体感できるイベントを実施するもの
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（平成 25 年度～令和 4 年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	新型コロナウイルス感染症の影響によりよさこい祭りが中止となり、入館者数も減少したが、感染症対策を行いながら、「いろんな鳴子展」、「よさこい写真展」等の展示イベントや「夏休み子どもよさこい教室」、「鳴子作り」等の体験イベントを開催した。 計画：入館者増加見込数 2,942 人÷想定開館日数 312＝9 人 半数が商店街に移動し、2 か所回遊と仮定 9 人÷2×2 か所×2 日＝18 人増加見込み 実績：18,008 人
事業の今後について	よさこい情報交流館あり方検討を踏まえた、よさこい情報交流館の運営（インバウンド観光推進、全国よさこい情報の充実化、商店街との連携強化等）や、よさこい企画展の開催などに引き続き取り組むことで、来街の促進や回遊性の向上を図っていく。

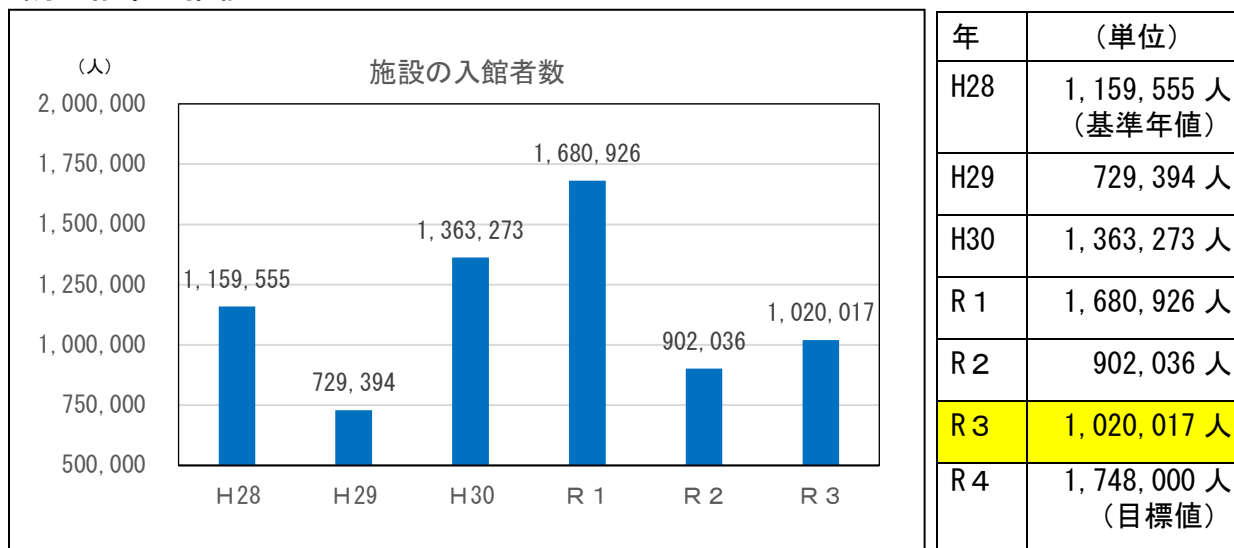
●目標達成の見通し及び今後の対策

基本計画の推進により歩行者通行量は順調に増加しており、令和元年度には目標値を達成していたが、令和 2 年度以降は新型コロナウイルス感染症拡大により来街者は減少した。令和 3 年度の歩行者通行量は過去最低の数値となった令和 2 年度（75,866 人）より増加したものの、104,188 人と、基準値にも届かない結果となった。

帯屋町一丁目地区複合施設整備事業など目標達成に関連する主要ハード事業は概ね整備が完了した一方で、ソフト事業については、商店街やオーテピア、高知城歴史博物館、かるぽーとを中心に展開されるイベントが中止や規模縮小、オンライン開催となった。ソフト事業は今後もオンラインや密集を回避する規模での実施がニューノーマルとなっていくため、新型コロナウイルス感染拡大以前に設定した目標を達成することは困難な状況である。目標達成に向けては、感染症対策を講じたイベント運営体制の構築、ニューノーマルに対応するよう、登載事業の変更等、今後の対策について検討する必要がある。

Ⅲ「拠点施設入館者数」※目標設定の考え方基本計画 P84～P87 参照

●調査結果の推移



※調査方法：拠点施設（4施設）ごとに日常的に計測し、年間入館者数を集計

※調査月：毎年4月

※調査主体：高知県、高知市

※調査対象：オーテピア、高知城歴史博物館、かるぽーと、高知よさこい情報交流館の4施設（H29年度はオーテピアが開館前のため、3施設の入館者数の合計値）

〈分析内容〉

オーテピア、高知城歴史博物館、かるぽーと、高知よさこい情報交流館の4施設の合計値となる拠点施設入館者数の令和3年度の結果は、1,020,017人となり、前年度の902,036人からは117,981人増加したものの、新型コロナウイルス感染症拡大前の1,680,926人と比較すると、660,909人減少している。新型コロナウイルスの感染拡大により、各種イベントが中止になったことや、観光客の減少、市民の外出控え等の影響を受けたことが主な原因と推察される。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①オーテピアにおけるソフト事業（高知県、高知市）【再掲】

事業実施期間	平成30年度～令和4年度【実施中】
事業概要	オーテピア多目的広場を活用した各種イベントや、日曜市・中心商店街と連携した取組を実施するもの
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	「高知まちゼミ」は新型コロナウイルスの影響のため中止となったものの、「土曜夜市」、「高知市商店街龍馬生誕祭」に参加し、中心商店街と連携して情報発信等の取組を実施した。11月21日にはお城下文化の日を開催し、オーテピア高知図書館、高知みらい科学館の各施設におけるイベントや「お城下まちあるき」を実施した。 - 計画：年間入館者 1,000,000人 - 令和3年度実績：766,467人

事業の今後について	中心商店街が実施する「土曜夜市」や「まちゼミ」等のイベントが開催される場合は、感染症対策を行いながら参加し、オーテピアから商店街への人の流れを創出していく。
② 高知城歴史博物館ソフト事業（高知県）【再掲】	
事業実施期間	平成 28 年度～令和 4 年度【実施中】
事業概要	高知城歴史博物館において、多彩なイベント、日曜日や中心商店街との連携事業、情報発信等を実施するもの
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	中心市街地の文化施設による連携活動として、合同イベント「お城下文化の日」を実施し、まちあるき・ワークショップ・周遊企画等を開催、また中心市街地マップや施設情報を掲載したパンフレット「お城下文化手帳」を発行した他、中心商店街主催の「龍馬生誕祭」にも参加し、ワークショップを開催し、来街者の増加に寄与した。しかし、例年開催している日曜日や商店街と関連したイベント（「日曜日料理教室」、「まちゼミ」）については、令和 2 年度に続き新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止となった。 ・計画：年間観覧者数 200,000 人 ・令和 3 年度実績：34,430 人
事業の今後について	目標達成に向けて、日曜日と関連したイベント、まちの歴史文化スポットに関する情報提供などを継続して実施していく。
③ まんがイベント事業、芸術文化振興事業（高知県、高知市、民間事業者）【再掲】	
事業実施期間	まんがイベント事業：平成 15 年度～令和 4 年度【実施中】 芸術文化振興事業：平成 30 年度～令和 4 年度【実施中】
事業概要	まんがに関するイベントの開催や地元商店街と連携したイベント等を実施する。また、県民文化ホール、かるぽーと等での芸術・文化イベントの実施により来街促進を図る。
国の支援措置名及び支援期間	まんがイベント事業：中心市街地活性化ソフト事業（総務省）、文化芸術振興費補助金 芸術文化振興事業：国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	「まんが甲子園」、「まんさい」、「全国漫画家大会議 in まんが王国・土佐」はいずれも新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、オンラインでの開催となった。また、情報発信拠点「高知まんが BASE」では 1 周年記念イベント「ゲンガノミカタ展」等のイベントを開催した。 計画：利用者増加見込数 16,302 人 ÷ 想定営業日数 312 = 52 人 半数が商店街に移動し、2 か所回遊と仮定 52 人 ÷ 2 × 2 か所 × 2 日 = 104 人増加見込み 実績：201,112 人（かるぽーととの令和 3 年度入館者数）

事業の今後について	「まんが甲子園」,「まんさい」,「全国漫画家大会議 in まんが王国・土佐」を継続して実施する。かるぽーとは令和4年4月から令和5年3月まで改修工事を行うため、各種芸術・文化イベントは場所を変えて実施する予定。
④ 高知よさこい情報交流館運営事業（高知市）【再掲】	
事業実施期間	平成25年度～令和4年度【実施中】
事業概要	高知よさこい情報交流館の運営を行い、よさこいをテーマとした展示やよさこい祭り開催時以外でもよさこいを体感できるイベントを実施するもの
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（平成25年度～令和4年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	新型コロナウイルス感染症の影響によりよさこい祭りが中止となり、入館者数も減少したが、感染症対策を行いながら、「いろんな鳴子展」、「よさこい写真展」等の展示イベントや「夏休み子どもよさこい教室」、「鳴子作り」等の体験イベントを開催した。 計画：入館者増加見込数 2,942 人 ÷ 想定開館日数 312 = 9 人 半数が商店街に移動し、2 か所回遊と仮定 9 人 ÷ 2 × 2 か所 × 2 日 = 18 人増加見込み 令和3年度実績：18,008 人
事業の今後について	よさこい情報交流館あり方検討を踏まえた、よさこい情報交流館の運営（インバウンド観光推進、全国よさこい情報の充実化、商店街との連携強化等）や、よさこい企画展の開催などに引き続き取り組むことで、来街の促進や回遊性の向上を図っていく。
●目標達成の見通し及び今後の対策 拠点施設の入館者数については、令和元年度まではオーテピアや高知城歴史博物館でのソフト事業の着実な実施や、高知市文化プラザかるぽーとにおける芸術文化振興事業及びまんがイベント事業の充実等により、目標達成に向けて増加傾向となっていたが、令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響により各施設が休館していたことやイベントの中止及び外出控えなどが影響して大幅に減少しており、令和3年度は1,020,017人と、前年度と比較すると少し持ち直したものの、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の令和元年度（1,680,926人）の約61%となっている。 各拠点施設では感染症対策を行いながら各ソフト事業の展開に努めているが、オンラインや密集を回避する規模での実施が今後のニューノーマルとなっていくことに加え、拠点施設の一つである「かるぽーと」は令和4年4月から大規模改修により全館休館になることから、目標を達成することは困難な状況である。目標達成に向けては、ニューノーマルに対応するよう、登載事業の変更等、今後の対策について検討する必要がある。	